

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

令和4年度 事業所名：グループホームやすらぎ

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者と職員は共に支えあう関係を築けており、スタッフ室に理念を掲げ共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍であり、利用者が交流することは困難だが、管理者が地域の清掃活動等に参加している。	日々変わる感染状況下であるので、今はできる範囲で地域との交流を続けていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今は外部の方の来所は困難だが、顔なじみの職員で開催していることを活かし、利用者全員が出席し、意見や要望をサービスの向上につなげている。	書面報告のみとなっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な運営推進会議の報告や電話やメール、FAXにより協力関係にある。	感染症や自然災害が起こる中でも事業継続が必要なため重要である。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に身体拘束等適正化委員会を開催し、全ての職員に周知している。利用者の外出の思いを妨害することはない。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に身体拘束等適正化委員会を開催され、施設全体で情報共有もされている様子が伺えます。引き続き、身体的拘束等の適正化について、適切な知識の普及・啓発に努めていただければと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者を含め職員の7割以上は介護福祉士であり、学ぶ機会を経て、虐待について理解し、日々のケアの中でも実践している。また職員がストレスをためないように常に注意している。		㊤. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止の勉強として、どのような内容を行っておられるのか、参考のために教えていただきたいです。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業を利用している方がおられ、実際に様々な制度の活用の大切さを理解している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重要事項の説明は特に丁寧に行い、不安や疑問を解決できた後に契約を結んでいる。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で介護相談員の訪問が困難になり、機会の損失がある。今年度からWEBでの面会体制を整えたので活かしていきたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	WEBでの面会体制を整備されたことは、様々な場面での活用が期待され、より良い施設運営に繋がると思います。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝カンファレンスをしており、職員の意見や提案を幅広く反映できている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス要件を設定し、職員の努力や、実績、勤務状況を評価する仕組みがある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人外の研修の機会が減ってしまったが、WEB開催の研修には参加し、トレーニングを積むようにしている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍においては、同業者は特に慎重になっており、相互訪問はできていない。交流をどう工夫するか課題である。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は自分の家族よりも利用者と暮らしを共にし、お互いに感謝の言葉を言い合う関係にある。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度から WEB 面会の体制を整え、馴染みの人との関係は途切れないうにできた。馴染みの場所への支援の工夫が課題である。	臨機応変に対応し、窓越し面会で元気な姿を短時間でも見てもらい家族に安心していただく。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの思いや暮らし方の希望や把握は日々のケアの中でできている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の望む暮らしや家族の意見の実現に努めている。コロナ禍以前のように介護相談員の意見の反映が困難になっているが現状に即した介護計画を作成している。	職員同士は日々のケアの中で気が付いたことはすぐに話し合っている。	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度より、WEB での面会体制を整備されたとのことですので、ご家族や介護相談員等の意見も反映された計画作成が可能となり、より良い介護計画になることが期待されます。
	18	個別の記録と実践への反映	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の発言や表情を記録し、毎朝のカンファレンスで情報共有し、介護計画の見直しをしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訪問診療や往診を行っている。職員を増員して柔軟なサービスができるように募集しているところである。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ⓓ. ほとんどできていない	保育園児や福祉課の高校生やボランティアの受け入れをしていたが、コロナ禍で困難になった。コロナ禍でも地域資源の情報収集に努めることが課題である。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に丁寧に説明をし、本人及び家族が選択できるようにしている。適切な医療が受けられるように医療機関と連携している。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院の際は、暮らしを共にしている職員が医師に状態を説明し、安心して治療できるようにしている。病院の連携室ともまめに連絡を取り合い、早期退院に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病院とも良い関係が築かれていることが伺えます。日頃から病院関係者との関係づくりを行っておくことが入院時の迅速な情報提供や退院時の円滑な連携に繋がると思いますので、継続していただければと思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に看取りの方針について意見交換している。実際に重度化した場合は、早い段階から本人、家族と話し合い、チーム支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護福祉士の国家資格者が7割以上であり、個々に勉強しフィードバックしているが、再度確認する機会を作りたい			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災訓練を定期的実施し、地域と連携した避難確保計画を策定している。正職員は昼夜を問わず対応できるが、月数回のパート職員への協力体制を構築できるようにしたい	BCP(事業継続計画)の作成に向けて検証を進めているところである。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	不測の事態に備え、すべての職員が避難方法を習得し、対応できるようにしておくことは大切だと思います。訓練の実施や日頃から地域との協力体制を構築しておくことは、有効であると思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人権やプライバシーを侵害しないように、また不適切なケアにならないように全職員で取り組んでいる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者が選択できるような声掛けをすることで、一人ひとりのペースを大切に、希望にそっている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スーパーの広告を見ながら、食事の内容や準備、片付けについての好みを聞き出し実践している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スーパーの広告を見て、利用者の食の好みを把握することは、良案だと思います。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態に合わせて、主食をおかゆにしたり、おかずは刻みやとろみをつけたりして支援している。			
	30	口腔内の清潔保持	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後に、声掛けや介助によって口腔ケアや義歯の洗浄を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの排泄状況を毎日チェックし記録している。習慣やパターンを活かした自立支援をしている。必要なら医療機関と連携している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
	32	入浴を楽しむことができる支援	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望に合わせて入浴できるように支援している。入浴時間も本人のペースに任せている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣を尊重し、自室でいつでも休息でき、気持ちよく眠れるように環境を整えている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	BPSD 対策としても、薬への理解は重要なので理解している。副作用を疑う場合はかかりつけ医や看護師、薬剤師に相談している		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの得意を活かし、日々に一緒に掃除や料理、片付けや洗濯等の家事には各人の役割がある。	皆が積極的に参加してくれて、職員も助かっている。		
	36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	希望があれば、施設の前の桜を見に出かけているが近所までにとどまっている。コロナ禍であっても、希望を把握し今後の楽しみにしたい。	屋外に出て外気に触れ季節を感じることも大切なので、今できることを続けたい。	

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人やご家族と入居の際に決めている。希望があれば所持してもらいが、現実的には要望は多くない			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に電話ができるようにしている。コロナ禍においては電話や手紙の支援が増えている			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者と職員が一丸となって一人ひとりの身体機能や認知力を把握し、安心、安全な暮らしができるよう毎日注視して空間づくりをしている		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとり、身体機能や認知機能は異なるため、共用部分については、すべての利用者に配慮した空間にすることは困難であると思うが、利用者が居心地よく生活できるように、空間づくりを工夫されている様子が伺えました。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と職員の会話を大切にしており、本人の思いや願いに寄り添った暮らしができるように支援している			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と職員の会話を大切にしており、生活歴、暮らしの習慣などの情報をもとに支援している(上記同様)			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と職員の会話を大切にしており、健康、医療、安全面に日々の状況をもとに支援している(上記同様)		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースを大切に、本人や家族から聞き取り、これまでの暮らしにあった生活の継続をしている。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自室には本人の希望を聞いてなじみものものや大切にしているものを持つことができる。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	戸外に出かけることは希望に沿っているが、コロナ禍では催事に参加することは困難になった。			
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月モニタリングを行い、残存能力を活かして楽しみごとを行うことができている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの好きなことを大切に、いきいきとした暮らしができるように支援している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者にとって、自分の好きなことを大切にしてもらえることは、いきいきと過ごすことに繋がると思っていますので、継続していただけたらと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍になり困難になったが、WEBなども利用して関わりを継続する努力をしている。	残念だが今は難しい状況にある。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人も職員も家族のように親しみを持ち、バイトルだけでは分からない「いつもと何か違う」を見逃さない関係にあり、相互によりよい日々を送っている。	本人や家族にとっても入居して良かったと思える安心できる施設づくりを今後も努めていく。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族のように利用者と職員と一緒に過ごすことで、少しの変化にも気づくことができる関係性であり、相互にとって良い関係を構築できている様子が伺えました。引き続き、利用者一人ひとりが安心して生活することができる施設運営をよろしく願います。